

令和6年度（2024年度）熊本県立芦北高等学校 第1学期始業式

校長あいさつ

令和6年（2024年）4月8日（月）草野 貴光

季節は流れ、当初のサクラの開花予想は3月になっての冷え込みの影響もあり2週間ほど遅れました。満開になったかと思えば同時に花びらが風に舞ってしまいました。これから柔らかな若葉の季節となり、そして、力強い緑の季節へと移ろっていきます。そんな植物の息吹に、人々の行動に力強さを感じられる時季です。

ところで、人生100年の時代と言われています。身近にも100歳に近いおじいちゃん、おばあちゃんもおられるのではないのでしょうか。100年に辿り着きには1年ごとの積み重ねが大切です。皆さんは、この1年間をどう過ごしていくか共に考えたいと思います。1年後にどのような自分になっているか想像することはワクワクドキドキすることでもあります。

17歳の年齢を迎える2年生。私たちも振り返ると自分がどんな人間のかはっきりしない、何者でもない自分と葛藤した年齢であったと思います。これからの進路や将来を考えたとき、想像が追いつかず、けれども考えることを求められ、答えが出せず、出した答えが正しいのかも分からずにイライラする日々がありました。自分とは何か考え続けるのが17歳。しかし、活力に溢れ、グングン成長する年でもあります。

18歳の年齢を迎える3年生。これまでの人生の中で大きな意味合いを持つ1年になることは間違いありません。同じ場所でグルグル考え続けることはできず、何らか自分なりの答えを持って実践していくのが18歳です。成人年齢に到達し、選挙権も手に入り、様々な責任も負うことができます。周囲の大人とも話が段々と噛み合うようにもなり、頼られる存在になっていきます。自分の変容を楽しみしてください。

教育スローガンは「私は挑戦する、夢を実現するために」です。

半年先、1年先、10年先に叶うかも知れない夢や目標を持つことはとても重要です。それを実現するためには少しずつの歩みの積み重ねが大切です。修了式で話したように半歩進めば実現する目標を目の前に置いてもらいたいと考えています。半歩踏み出せば重なる自分の姿。その繰り返し、一気に飛ぼうとしないこと。半歩進めば必ず今の自分より成長します。

皆さんが実践できていることで、周囲の人たちへの配慮、何よりも自分自身の生命を守る行動を引き続き取り組んでいきましょう。全員が安心して登校できる学校、良い学校、楽しく煌めく学校生活を送るために。

令和2年7月豪雨からやがて4年が経過します。熊本地震からは8年が経ちます。復旧・復興は着実に進んでいます。

予想もせず突然起こることに、私たちは、どのように対応していけばよいか考えておく必要があること私たちは知っています。知った上で、よく考えて行動につながるようにしておきましょう。授業でも行っている課題を発見、課題の解決、協働的に、主体的に学ぶことを大切にしましょう。

それでは、毎日がワクワクして充実した高校生活を過ごしていきましょう。